

令和5年度 自己評価

I 「保育の計画性」についての検証及び改善策

保育の指導計画は園の方針を理解して計画の中に活かし、学年リーダーを中心に常に見合直しながら保育を進める事が出来ていた。季節の変化に応じた環境構成や異年齢の園児同士が自然に交流できるよう考えた保育が行われていた。

II 「保育への在り方、幼児への対応」についての検証及び改善策

引き続き園児の健康と安全への配慮は各教職員の評価が高い。クラスに関係なく、その場にいた職員が園児に対し適切な言葉かけや対応が出来、園児の安心や安全に繋がっている。また、日々のミーティングの機会は減っているが毎日各学年リーダーで共有した内容を伝達し、職員間の情報の共有は問題なく出来ていた。

III 「保育者としての資質や能力・良識・適正」についての検証及び改善策

不適切保育が問題視されている昨今、今まで当たり前だと思っていた保育を見直す機会や、人数点呼、園児の所在確認等より丁寧、確実にを行う事が求められている。職員間で問題点を指摘し合い、よりよい保育、安心・安全な保育はどうあるべきか、何が不適切保育に当たるのかを話し合う機会を定期的に設けていきたい。

IV 「保護者への対応」についての検証及び改善策

今年度は新型コロナウイルスが5類に引き下げられ、行動制限のない中で行事を開催する事が出来、保護者にも園児の成長を直接見て感じて頂く機会が増えた。保護者からの要望やクレームに対しても職員間で話し合い、一つ一つ真摯に対応し、納得して頂く事が出来ていると思う。引き続き安心して預けて頂けるよう努めていきたい。

V 「地域の自然や社会との関わり」についての検証結果及び改善策

園庭開放やイベント日も予定通り実施する事が出来、多くの方に参加して頂く事が出来た。引き続き毎月の入園説明会以外に未就園児のお誕生日会を行い、未就園児親子が来園しやすい案内やイベントを実施する事が出来た。未就園児親子の成長や発達についての相談にも応じ、早めに話を聞いて対応等相談する事が出来ていた。

VI 「研修と研究」についての検証結果及び改善策

今年度もまだリモートでの研修が多かったが、定期的に各自が問題意識を持って興味のある研修を選び、参加する事が出来ていた。少しずつ研修会場での研修も行われるようになってきている為、今後も職員が各自で課題や問題意識を持ち、研修に参加するようにしていきたい。